

(別記様式第11号)(第3の8関係)

(南信州地域)

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ヤーコン栽培による荒廃農地の再生と地域の「住民力」を活性化させる事業
事業主体 (連絡先)	農事組合 まっかつか (下伊那郡阿智村智里 3314 組合長 原紘一)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,211,340円(うち支援金: 910,000円)

事業内容

荒廃農地の再生と高齢者の生きがいを取り戻すことを目的に、次の事業を実施しました。

- 1 塊根(イモ)と葉の加工用乾燥貯蔵施設の設置
- 2 販売促進用パンフレットの作成
- 3 安定した需要を得るためのヤーコン・トラストの案内看板設置
- 4 栽培先進地の視察、新商品の研究・開発等

(活動写真)

【別紙のとおり】

自己評価(事業実施率)【A】

事業効果

- 1 平成19年度の生産量: 塊根(イモ)約38t、葉150kg
- 2 平成19年度までの地区内の荒廃農地の再生約3,156a、114%
- 3 平成20年までのトラストメンバー: 120人に拡大
- 4 村の新しい特産品として、そば、ジュース、お茶、漬物などの商品開発を進めた。
- 5 村の有機農業の堆肥を使用した無農薬栽培を進めた。
- 6 地元の阿智村第三小学校の児童と交流を行った。

【目標・ねらい】

- ヤーコン生産量の増量
- 加工品の開発及び増量
- 荒廃農地の再生
- 栽培を通じた交流の輪の拡大
- 高齢者の生きがい対策

自己評価(目標達成率)【A】

今後の取り組み

ヤーコン栽培を広げ、当地区外の荒廃農地をも再生したいと考えております。

特に、阿智村の有機農業の推進と併せて新しい特産品として村全域に広げ、優れた薬効により全村民の健康増進を図り、豊かで健康な村づくりに寄与したいと考えております。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。

平成 19 年に再生した農地で収穫 (H19.12.2)



阿智村立第三小学校児童と交流（H19.11.12）



木島平村視察研修写真

(平成20年3月12日(水))



(財) 木島平村農業振興公社



公社入口



取り組みについてお話を伺いました。



中央右側：日台事務局長さん
中央左側： 職員の佐藤さん



ヤーコンの加工品を販売しています。



村内の酒店で、一番人気の梅酢漬けと二番人気焼酎の「やー魂」を販売していました。